

Trucost のリサーチ・プロセス

企業の環境への配慮や取組みを綿密かつ包括的に評価

企業の環境への配慮や取組みに対して透明性を求める動きが強まっている一方で、企業が提出する各種報告書の内容は依然として一貫性を欠くものとなっています。たとえ開示されていたとしても、不完全または非標準的な形式で情報公開されるケースが多く、市場参加者にとっては各社の環境への配慮や取組みの度合いといった「環境パフォーマンス」を比較することが困難となっています。また、報告の誤りの多さも課題です。

Trucost では、4 段階のリサーチ・プロセスを通じて 14,000 社以上（世界の時価総額の 99%を占める）の環境への配慮や取組みを綿密かつ包括的に評価しています。

4 段階によるリサーチ・プロセス

- 1 企業の環境報告書を調査する
- 2 企業から報告されたデータを標準化し、報告エラーを修正する
- 3 環境報告書の不備を補完する
- 4 企業に対するエンゲージメント活動を通じて環境パフォーマンス・プロファイルを検証する

企業の報告負担を最小限に抑える一方で、透明性を確保する

Trucostのリサーチ・プロセスは、企業の報告負担（“調査疲れ (survey fatigue)”としても知られている）を最小限に抑えることを目的に開発されました。あわせて、このリサーチ・プロセスでは、企業の環境パフォーマンス・プロファイルを検証し、かつ最新のデータをいつでも提供できる透明性の高いシステムを企業に提供することも目的としています。

具体的には、以下の4つの段階を通じて、企業の環境パフォーマンスを評価しています。

1 企業の環境報告を調査する

Trucostのアナリストは毎年、年次報告書や持続可能性報告書、ウェブサイトといった企業が発表するさまざまな環境報告を元に環境パフォーマンスを調査しています。こうした環境報告から延べ450件以上の環境問題に関するデータを収集し、炭素排出量やその他の汚染物排出量、水への依存度、資源効率、廃棄物処理などに関して評価を行っています。企業の報告情報を最大限に活用するため、Trucostは2012年にCDP(カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト)のゴールド・データ・パートナーになりました。これにより、[CDPの開示プログラム](#)に提供される環境データをこのリサーチステップに組み込むことが可能となりました。

2 企業から報告されたデータを標準化し、報告エラーを修正する

Trucostのアナリストは、環境パフォーマンスに関する開示データを標準化しています。その際にも、[GHGプロトコル事業者排出量算定報告基準](#)、[GRIスタンダード](#)、[米国サステナビリティ会計基準審議会\(SASB\)](#)といったベスト・プラクティス・ガイドラインに沿った仕様とすることで、企業間、地域間、及び事業活動間でデータを比較することが可能になっています。報告エラーを修正する場合はデータ管理手順を定め、セクター・スペシャリストによるデータ検証や異常値の自動検出、前年実績との比較などを行います。

3 環境報告の不備を補完する

企業からの環境報告における情報開示の不備を補完するため、Trucostでは「環境を含めたインプット/アウトプット(EEI-O)モデル」の原則に基づく、独自の経済モデルを提供しています(EEI-Oモデルについては下記の囲み内をご参照ください)。Trucostによるコア環境プロファイリング・モデルは、企業が環境に及ぼす影響を、企業の事業活動のみならず、原材料の抽出・処理なども含めたサプライチェーン全体にわたる影響も考慮したうえで見積もります。Trucostのアナリストは、モデルによる推定と企業からの報告データを比較・評価することで、エラーを検出することができます。そしてエラーが検出された場合には、徹底的な点検を行います。広範囲にわたるEEI-Oモデルが存在しており、その多くは公に入手可能な情報ですが、データの質が保証されているわけではないため、注意する必要があります。以下では、Trucostが優れている理由を述べます。

4 企業に対するエンゲージメント活動を通じて環境パフォーマンス・プロファイルを検証する

Trucostは毎年、リサーチ・ユニバース内の全ての企業に対してエンゲージメント活動を行っています。電子メールまたは手紙を通じてエンゲージメントにより、企業の環境パフォーマンス・プロファイルを検証し、まだ報告されていない追加情報を企業から提供される機会が得られます。企業は、環境報告サイクルのどの時点においても、Trucostのアナリストに連絡し、最新のデータを提供することが奨励されています。

Trucostのモデルが優れている理由を以下に述べます。

✓ データ・ソースの質

Trucostでは、さまざまな事業活動が環境に及ぼす影響を算出する際に、ベストインクラスの科学文献を参考にしています。その範囲は、世界銀行や米国の環境保護庁が提供する「トップダウン」の業界データのみならず、国連や論文審査のある学術調査など各セクターの「ボトムアップ」のデータなどを利用しています。

✓ 緻密な分析

公に入手可能なEEI-Oモデルの多くは、事業活動の一部しかカバーしていない場合があります。Trucostのグローバル・モデルは米国経済に基づいています。これは米国経済が広範囲にわたる領域をカバーしているためです。このモデルがさまざまな企業の事業活動を代表するものであることを精緻に表すため、Trucostはグローバル環境ファクターを適用し、さらに約500社の事業活動までカバーする範囲を拡大しています。特に、公益事業や農業といった影響の大きな事業セクターは分割し、環境的に最も重要な事業セクター内の変化を把握することに努めています。

✓ 定期的なアップデート

公に入手可能なEEI-Oモデルは最新データに基づいていない場合があります、この点がたびたび批判の対象となっています。Trucostは、環境への影響に関するデータを毎年アップデートしており、企業に対するエンゲージメント活動を行うことで、環境パフォーマンスに関する最新の開示情報及び非開示情報がリサーチ・プロセスに反映されています。

✓ 環境指標の範囲

一部のモデルでは温室効果ガス排出量のみが推定されますが、Trucostのアプローチでは450以上の広範囲な環境指標に基づいて企業の環境パフォーマンスを算出しています。

EEI-Oモデルとは？

伝統的なインプット/アウトプット(I-O)モデルは、米経済分析局(BEA)や欧州経済社会評議会(EESC)といった世界中のエコノミストが使用する標準化されたビジネス・ツールであり、経済における各セクターの相互依存度を測定することを目的としています。

環境を含めたインプット/アウトプット(EEI-O)モデルは、セクター・レベルの環境排出ファクターにまで適用範囲を広げ、伝統的なインプット/アウトプット(I-O)モデルを拡大したものとなっています。

最も基本的なタイプでは、この枠組みは、(1)モノ(アウトプット)を生産する業界と、(2)各業界独自のアウトプットを生産する過程でその他の業界が生産したモノ(インプット)を消費する業界、の間の経済取引を数値化したです。言い換えると、インプット/アウトプット(I-O)モデルでは、所与のセクターにおける1単位当たりの売上高に対して、サプライチェーン全体にわたるその他のセクターで必要とされた支出額(原材料の調達から企業の事業活動に至るまで)を数値化したものであるとも表現できます。伝統的なインプット/アウトプット(I-O)モデルを拡大して環境情報も含めた場合、この枠組みを使って、モデルに含まれる各セクターの資源利用、土地利用、汚染物質、及びその他の環境問題などを見積もることが可能です。

自動車製造業界を例にとつて考察します。自動車1台を製造するためには、エネルギー業界、鉄鋼業界、タイヤ製造業界といったその他の業界からのインプットが必要となります。さらに、エネルギー業界、鉄鋼業界、タイヤ製造業界もそれぞれインプットが必要であり、こうしたモノのやり取りはサプライチェーン全体にわたり行われています。伝統的なインプット/アウトプット(I-O)モデルでは、自動車1台を製造するのに必要となる経済取引についてサプライチェーン全体にわたり見積もることができます。加えて、こうした経済取引にセクター・レベルの環境情報も考慮することにより、自動車1台の製造に関連する環境への影響や環境への依存度をサプライチェーン全体にわたって見積もることも可能になります。

NOTICE

Copyright © 2018 S&P Trucost Limited (“Trucost”), an affiliate of S&P Dow Jones Indices LLC. All rights reserved. Redistribution or reproduction in whole or in part is prohibited without written permission. All information provided by Trucost is impersonal and not tailored to the needs of any person, entity or group of persons. This publication and related materials are not intended to provide and do not constitute financial or investment advice.

DISCLAIMER

Copyright © 2018 S&P Trucost Limited (“Trucost”), an affiliate of S&P Dow Jones Indices LLC. All rights reserved.

This publication and related materials are not intended to provide and do not constitute financial or investment advice. The information in this publication should not be construed or relied upon in making, or refraining from making, any investment decisions with respect to a specific company or security or be used as legal advice. Trucost is not an investment advisor, and Trucost makes no representation regarding the advisability of investing in any investment fund or other investment vehicle. A decision to invest in any investment fund or other investment vehicle should not be made in reliance on any of the statements set forth in this document.

This publication and related materials (“Information”) have been prepared solely for informational purposes only based upon information generally available to the public from sources believed to be reliable. The Information may not be reproduced or disseminated in whole or in part without the prior written permission of Trucost. The information may not be used to verify or correct other data, create indexes, risk models, or analytics or in connection with issuing, offering, sponsoring, managing, marketing any securities, portfolios, financial products, or other investment vehicles.

Historical data and analysis should not be taken as an indication or guarantee of any future performance, analysis, forecast or prediction.

Trucost, its affiliates, or its and their third-party data providers and licensors (collectively “Trucost Parties”) do not guarantee the accuracy or completeness of the Information. Trucost Parties are not responsible for any errors or omissions, regardless of the cause, for the results obtained from the use of the Information. THE TRUCOST PARTIES MAKE NO WARRANTIES OR REPRESENTATIONS, AND, TO THE MAXIMUM EXTENT PERMITTED BY LAW, EACH TRUCOST PARTY HEREBY EXPRESSLY DISCLAIMS ALL IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING WARRANTIES OR MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. WITHOUT LIMITING ANY OF THE FOREGOING AND TO THE MAXIMUM EXTENT PERMITTED BY LAW, IN NO EVENT SHALL ANY OF THE TRUCOST PARTIES HAVE ANY LIABILITY REGARDING ANY OF THE INFORMATION FOR DIRECT, INDIRECT, SPECIAL, PUNITIVE, CONSEQUENTIAL (INCLUDING LOST PROFITS) OR AN OTHER DAMAGES EVEN IF NOTIFIED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. The foregoing shall not exclude or limit any liability that may not by applicable law be excluded or limited.

‘Trucost’ is the trading name of S&P Trucost Limited a limited company registered in England company number 3929223 whose registered office is at 20 Canada Square, London E14 5HL, UK.

CONFIDENTIALITY & COPYRIGHT

The information contained in this report is confidential and is submitted by Trucost on the understanding that it will be used only by your staff and consultants. Where consultants are [self] employed, the use of this information is restricted to use in relation to your business. In particular, the contents of this report may not be disclosed in whole or in part to any other party without the prior written consent of Trucost.